

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護人材確保支援事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の介護施設等で就労している方	意図	介護職員の育成と介護施設等への就労を支援し、介護人材の確保及び定着を図る。
事業内容	介護職員初任者研修又は介護福祉士実務者研修を受講し、市内の介護保険施設等に3か月以上就労した者に対し、研修費用の一部を助成する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年6月1日から、千葉県介護人材確保事業補助金を活用し事業を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	介護職員初任者研修費助成		2	20	
②	介護福祉士実務者研修費助成		15		20	件	↑↑↑
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
平成28年度から事業を開始し、市ホームページ、広報ながれやま2回、事業所集団指導で周知を行った。その結果、平成29年度は申請者が増加した。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,183,520	3,160,870
事業費(b)(円)		810,520	1,818,470
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)		1,373,000	1,342,400
人役・職員(人)		0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	制度の周知を行い、広く市民に利用してもらおう。	③取組の課題	引き続き周知を行う。スムーズな申請・助成ができるように各様式の記入見本を整備する。
②今年度(H29)に実施した取組	事業所集団指導において事業の周知を行い、雇用主側にも制度を理解してもらい、助成件数を向上させた。	④今後(H30以降)の改善計画	引き続き事業所集団指導やホームページ上で周知する他、広報や関連する他事業の場でもチラシの配布などにより周知していく。